情報公開文書

疫学研究の実施についてのお知らせ

京都大学医学部附属病院 医療情報企画部では病気の診断や治療の向上を目指して、実際に治療を受けられた方の臨床情報を元に種々の研究を行っています。以下にその概要を記しますのでご理解の程お願いいたします。

2025年3月10日

1．研究計画名
麻酔薬血中濃度と手術侵襲に対する生体反応の関係性調査

2．研究の意義・目的
本研究の目的は、手術開始時に必要である麻酔薬の用量を患者個別に予測することです。麻酔薬の過剰投与・過少投与のリスクを減らすことで、これから全身麻酔を受けられる患者さんの周術期の安全性に貢献します。

3．研究の方法
　京都大学医学部附属病院の麻酔記録データベースに記録されている患者さんの情報を用いて、背景情報や手術中の経過を抽出し、現状の麻酔薬使用量を明らかにし、患者個別の麻酔薬必要量を明らかにするような予測モデルの開発を行います。
　使用する情報は年齢・性別・身長・体重、手術中の血圧や脈拍数、手術中に受けた投薬内容等になります。

4．対象となる試料・情報の取得期間
　2010年1月1日から2024年12月31日の間に、京都大学医学部附属病院において全身麻酔で手術を受けた成人（20歳以上）患者さんを対象とします。

5．研究期間
　研究期間の長の実施許可日から2027年3月31日まで

6．個人情報の保護について
　本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施します。個人情報（個人が特定できるような氏名・生年月日などの情報）は文部科学省・厚生労働省の指針に従い厳重に管理いたします。
　本研究のために調査する資料はカルテ番号(ID番号)に別の登録番号を付与し、どの人の資料かが直ぐにはわからないようにして作成することにより、個人情報とプライバシーの保護に努めます。

当該研究の実施に係る記録（文書及び電子記録）を試験終了後、結果の公表から10年以上保存します。本研究に参加を同意されない対象者の方は、下記連絡先まで不参加のお申し出をいただくことで、その時点より解析およびデータより研究対象者が識別される試料・情報の利用は中止されます。

7．研究資金・利益相反について

本研究は、運営費交付金を使用して実施します。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査します。

8．その他

本研究はすでに当院で治療を受け、当院の電子カルテやデータベースに記録保存されているデータを用いて行います。本研究の対象となった場合も謝礼のお支払いはありません。

9．本研究に関する問い合わせ窓口

研究責任者
京都大学医学部附属病院　医療情報企画部 准教授　森由希子
（電話）075-751-4592

病院の相談窓口
京都大学医学部附属病院　臨床研究相談窓口
（電話）075-751-4748（E-mail）ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp